

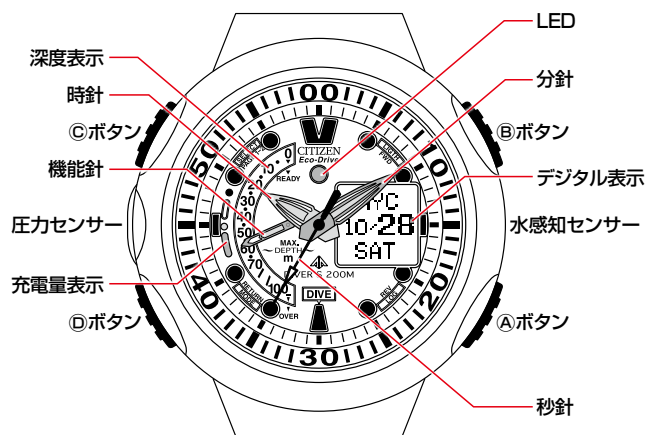
U10* 簡易操作ガイド

- ・この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- ・充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。



U10*取扱説明書

各部の名称



- ・モデルによってデザインが異なります。

ELライトを使う

⑩ボタンを押すとELライトが約2秒間点灯します。

ただし、下記の場合はELライトは点灯しません。

- ・充電量がレベル2～0のとき。
- ・次のモードへの移行中や各モードの修正状態のとき。
- ・0℃以下の低温のとき。
- ・ELライトを消した直後約2秒間。

時刻とカレンダーを合わせる

- ・アナログの時刻(時計針/分針/秒針)は、デジタル表示の時刻と連動します。

- ①ボタンをくり返し押して、モードを「時刻カレンダー」にする
- ②ボタンを2秒間以上押し続ける
「秒」が点滅し、設定できるようになります。
- 時報に合わせて、③ボタンを押す
- ④ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ
④ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。
秒→都市名→サマータイム→時→分→月→日→年→12H制/24H制
- ⑤ボタンまたは⑥ボタンを押して、合わせる
・ボタンを押し続けると表示が連続して変わります。
・修正途中で操作を行わないまま約1分間経過すると、自動で中断します。
- 手順4、5をくり返し、他の対象を合わせる
- ⑦ボタンを押して、終了する

トラベルタイムモードを使う

この時計に登録されている42都市とUTCの中から選んだ都市を表示できます。

- ⑧ボタンをくり返し押して、モードを「トラベルタイム」にする
- ⑨ボタンを2秒間以上押し続ける
都市名が点滅し、時計針と分針が12時に移動して停止します。
- ⑤ボタンまたは⑥ボタンを押して、都市名を選択する
・⑥ボタンを押すと時差が+する方向で都市名が切り替わります。
・⑤ボタンを押すと時差が-する方向で都市名が切り替わります。
・ボタンを押し続けると、都市名が連続して変わります。
- ④ボタンを押す
「S」(サマータイム設定)または「■」(サマータイム解除)が点滅し、サマータイムの設定ができるようになります。
- ⑤ボタンまたは⑥ボタンを押して、サマータイムを設定または解除する
ボタンを押すごとに、サマータイム設定と解除が交互に切り替わります。
・サマータイムの設定は、時刻カレンダーモードとアラームモードの同じ都市のサマータイム設定に反映されます。
- ⑦ボタンを押して、終了する
・操作を行わないまま1分間経過すると、時刻カレンダーモードに戻ります。



都市名一覧

略称	都市名	時差	略称	都市名	時差
UTC	協定世界時	±0	TYO	東京	+9
LON	ロンドン		SEL	ソウル	
PAR	パリ		ADL	アデレード	+9.5
ROM	ローマ	+1	SYD	シドニー	+10
BER	ベルリン		NOU	ヌーメア	+11
MAD	マドリード		AKL	オークランド	+12
CAI	カイロ		SUV	スバ	+12
JNB	ヨハネスブルグ	+2	MDY	ミッドウェー	-11
ATH	アテネ		HNL	ホノルル	-10
MOW	モスクワ	+3	ANC	アソカレジ	-9
RUH	リヤド		LAX	ロサンゼルス	-8
THR	テヘラン	+3.5	YVR	バンクーバー	-7
DXB	ドバイ	+4	DEN	デンバー	-7
KBL	カブール	+4.5	CHI	シカゴ	-6
KHI	カラチ	+5	MEX	メキシコシティ	-5
DEL	デリー	+5.5	NYC	ニューヨーク	-5
DAC	ダッカ	+6	YMQ	モントリオール	-5
RGN	ヤンゴン	+6.5	CCS	カラカス	-4
BKK	バンコク	+7	RIO	リオデジャネイロ	-3
SIN	シンガポール		FEN	フェルナンドデノロニャ諸島	-2
HKG	香港	+8	PDL	アソレス諸島	-1
BJS	北京				

- ・一覧表の時差は、UTC(協定世界時)からの時差です。
- ・時差や都市名は、国や地域の事情により変更される場合があります。

トラベルタイムと時刻カレンダーモードの都市の入れ替え

トラベルタイムで表示中の都市名/時刻を、時刻カレンダーモードで表示中の都市名/時刻と入れ替えます。

- ⑤ボタンと④ボタンを同時に2秒間以上押し続ける
・トラベルタイムの時刻と時刻カレンダーモードの時刻が入れ替わります。

次へ続く

アラームを使う

- ・アラームは、「アラーム1」、「アラーム2」、「アラーム3」にそれぞれ設定することができます。
- ・それぞれのアラームの音は異なります。
- ・ダイビング中はアラームは鳴りません。

1. ⑩ボタンをくり返し押して、モードを「アラーム1」、「アラーム2」、または「アラーム3」にする
現在設定されている都市名とアラーム時刻が表示されます。
2. ③ボタンを2秒間以上押し続ける
アラームのON/OFFが設定できるようになります。
3. ①ボタンまたは⑧ボタンを押して、アラームのON/OFFを設定する
4. ③ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ
③ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。
ON/OFF→都市名→時→分
5. ①ボタンまたは⑧ボタンを押して、合わせる
・ボタンを押し続けると表示が連続して変わります。
・修正途中で操作を行わないまま約1分間経過すると、自動で中断します。
6. 手順4、5をくり返し、他の対象を合わせる
7. ⑩ボタンを押して、終了する

アラーム音をとめる

- いずれかのボタンを押します。
- ・アラーム音は、約15秒間鳴ります。
 - ・アラームが鳴っている間、都市名とアラーム設定時間が表示されます。

アラーム音を確認する

アラームモードで④ボタンを押すと、押している間アラームのモニター音を確認することができます。

潜水警告設定モードを使う

「警告深度」と「警告潜水時間」を設定できます。

1. ⑩ボタンをくり返し押して、モードを「潜水警告設定」にする
設定されている警告深度と警告潜水時間が表示されます。
2. ③ボタンを2秒間以上押し続ける
ONまたはOFFが点滅して、警告深度のON/OFFが設定できるようになります。
3. ①ボタンまたは⑧ボタンを押して、警告深度のON/OFFを設定する
4. ③ボタンを押す
警告深度が設定できるようになります。
5. ①ボタンまたは⑧ボタンを押して、警告深度を設定する
設定できる深度は、5m～99m(1m単位)です。
・ボタンを押し続けると表示が連続して変わります。
・修正途中で③ボタンを押すと、修正を中断して潜水警告の通常表示に戻ります。
6. ③ボタンを押す
警告潜水時間のON/OFFが設定できるようになります。
7. ①ボタンまたは⑧ボタンを押して、警告潜水時間のON/OFFを設定する
8. ③ボタンを押す
警告潜水時間が設定できるようになります。

9. ①ボタンまたは⑧ボタンを押して、警告潜水時間を設定する
設定できる時間は、5分～99分(1分単位)です。

10. ③ボタンを押して、終了する

- ・操作を行わないまま1分間経過すると、潜水警告の通常表示に戻ります。

潜水モードを使う

1. 水感知センサーが水に濡れると、「潜水準備1」に切り替わる
「READY」の文字が点滅します。
2. 50cmよりも深い深度に潜ると、「潜水準備2」に切り替わる
時計、分針が12時位置に移動し、機能針が深度0mを指します。
3. 潜水を開始する
・水深1m以上になると、「水深計測」に切り替わります。
・③ボタンを押している間、現在水温、潜水経過時間、最大深度が表示されます。
・分針は潜水経過時間(分)、機能針は最大深度を表示します。
・分針が15分～30分の時、現在深度および最大深度を画面上部に移動して分針と重ならないように表示します。
・1mより深い深度に3分以上連続して潜水したとき、または8mよりも深い深度に1分以上連続して潜水したときに、ログデータを記憶します。
4. 潜水を終了する
・水深1m未満になると、「水深計測後0m表示」に切り替わります。
5. ③ボタンを2秒間以上押し続ける
・サーフェースモードになります。
・③ボタンを押さなくても、10分以上操作を行わないと、自動でサーフェースモードに切り替わります。

サーフェースモード

最新のダイビング終了時からの経過時間を表示します。

- ・計測時間は24時間までで、計測終了後はこのモードは表示されません。
- ・サーフェースモード表示中は、時刻カレンダーモードでサーフェースマークが点灯します。サーフェースマーク
- ・サーフェースモードの作動中(ダイビング終了から24時間以内)は、航空機への搭乗は避けてください。潜水後十分な休息を行わずに航空機への搭乗を行うと減圧症になる危険があります。

潜水ログ呼出しモードを使う

- ・最新の20回分の潜水データが表示されます。
- ・新しく潜水すると、最も古いログデータが消去されます。必要なログデータはログブックなどにメモをしておいてください。

1. ⑩ボタンをくり返し押して、モードを「潜水ログ呼出し」にする
最新の潜水データの「ログ番号」、「潜水月日」、「都市名/サマータイム」、「潜水開始時間」が表示されます。
・③ボタンを押すと、「最大深度」、「最低水温」、「潜水時間」が表示されます。
2. ①ボタンを押す
1つ前の潜水データが表示されます。
①ボタンを押すごとに、1回ずつ古い潜水データが表示されます。
・一番古い潜水データの後は、検査ログが表示されます。検査ログは、時計を出荷する前に工場で行った出荷検査の記録です。
3. 手順2をくり返して、潜水データを見る
・③ボタンを押すと、基準位置確認モードに切り替わります。
・1分以上操作を行わないと、時刻カレンダーモードに切り替わります。

ログデータの消去

④ボタンと⑤ボタンを同時に2秒間以上押すと、確認音が鳴り、ログデータがすべて消去されます。

- ・ログデータを個別に消去することはできません。
- ・検査ログは消去できません。

基準位置を確認する

1. ④ボタンをくり返し押して、モードを「基準位置確認」にする

- ・正しい基準位置

すべての針が12時位置

機能針が「深度目盛の0」

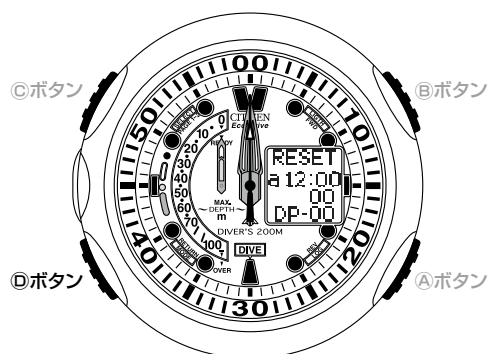
デジタル表示が RESET

a 12:00

00

DP-00

現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。



基準位置を修正する

1. ⑤ボタンをくり返し押して、モードを「基準位置確認」にする

秒針、分針、時針が、基準となる位置(12時00分00秒)に移動します。

機能針が、深度目盛りの0(READY)位置に移動します。

2. ⑤ボタンを2秒間以上押し続ける

DP-00の00が点滅します。

3. ⑥ボタンを押して、機能針を深度目盛りの0に合わせる

4. ⑤ボタンを押して、修正対象を選択する

⑤ボタンを押すごとに、次のように対象が変わります。

機能針→時針→分針→秒針

5. ⑥ボタンを押して、修正する

6. 手順4、5をくり返し、他の対象を合わせる

7. ⑤ボタンを押して、終了する

オールリセットを行う

- ・オールリセットを行うと、時刻やカレンダーをはじめ、時計の全ての設定が初期状態に戻ります。ログデータは消えずに残ります。

1. ④、⑥、⑤、⑦ボタンをすべて同時に押す

- ・アラーム音が鳴り、「ALL RESET」を表示します。
- ・秒針、分針、時針の順に各針が1回転し、機能針が0位置に移動します。
- ・ELライトとLEDが点灯します。
- ・アラーム音が鳴り、表示が「ALL RESET」に変わり、時計がオールリセットされます。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、各針の基準位置を合わせた後、時刻カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください。